

1・土	市民の日 小江戸川越七福神巡りの日 世界エイズデー 省エネ総点検の日
2・日	休日当番医=石井クリニック(内・小・外・婦・麻) 今福467-3・TEL244-6205
3・月	西の市 国際障害者デー 障害者週間(～9)
4・火	人権週間(～10)
5・水	
6・木	
7・金	大雪
8・土	吞龍デー
9・日	休日当番医=渋谷整形外科(整外・理) 天沼新田117-3・TEL232-6377
10・月	世界人権デー 広報川越発行日
11・火	
12・水	
13・木	
14・金	
15・土	
16・日	家庭の日 休日当番医=品田クリニック(産婦・内・小) 砂新田4丁目19-1・TEL246-2255
17・月	
18・火	
19・水	
20・木	
21・金	市立学校終業式 青少年を育てる日
22・土	冬至
23・日	天皇誕生日 休日当番医=おおひら耳鼻咽喉科(耳) 並木863-5・TEL236-0323
24・月	振替休日 祝日収集=可燃ごみ(月・木コース)・その他プラスチック製容器包装(月コース) 休日当番医=落合産婦人科(産婦) 清水町2-24・TEL244-6655
25・火	広報川越発行日
26・水	
27・木	
28・金	成田山のみ市の市
29・土	休日当番医=池袋病院(内・外・小外・整外) 笠幡3724-6・TEL231-1552
30・日	休日当番医=三井病院(内・外・整外) 連雀町19-3・TEL222-5321
31・月	大みそか 休日当番医=行定病院(内) 脇田本町4-13・TEL242-0382

■主な月間 大気汚染防止推進月間 地球温暖化防止推進月間 冬の省エネキャンペーン(～3/31)

■市税納期 国民健康保険税(第6期)

*市議会定例会は、11月29日(木)から開催します。日程など、詳しくは議会事務局・TEL内線3621にお尋ねください。

日曜日・祝日・休日の診療機関(電話のかけまちがいに、ご注意ください)

内科・小児科=市立診療所(小仙波町2丁目45-5・TEL223-0601) 受付時間…午前9時～11時・午後1時～3時・午後8時～10時30分

*小児科の診療(急患のみ)は、月～金曜日の午後8時～10時にも行っています。

休日当番医=変更になる場合があります。受診の際は、当日の休日当番医にご確認ください。 受付時間…午前9時～午後4時

歯科(急患のみ)=予防歯科センター(三久保町18-3・TEL224-3891) 受付時間…午前9時～11時30分

市税の収納窓口の延長(12月10日(月)～14日(金))

午後7時まで収税課・国民健康保険課(本庁舎2階)・介護保険課(本庁舎1階)・出張所(12日(水)を除く)の窓口を延長します。また、8日(土)に収納窓口を開設します。詳しくは、6ページをご覧ください。

問い合わせ…収税課滞納整理担当・TEL内線2384▶国民健康保険課国保収納担当・TEL内線3826▶介護保険課保険料資格担当・TEL内線2571



ご存じですか？ このマーク



上：障害者のための国際シンボルマーク（財団法人障害者リハビリテーション協会）＝すべての障害者を対象に、障害者が利用できる建築物や公共輸送機関などに表示



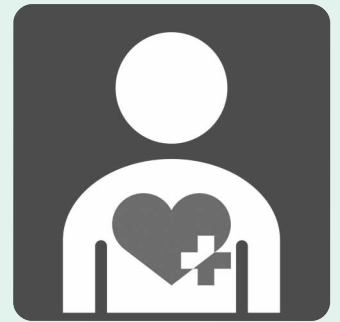
上：身体障害者標識（警察庁）＝肢体不自由の方が運転する自動車であることを表す標識

右：盲人のための国際シンボルマーク（世界盲人連合）＝視覚障害者対応の信号などに表示

左：耳マーク（社全日本難聴者・中途失聴者団体連合会）＝耳が不自由であることを表すマーク



思いやりのある ひとにやさしいまちへ 皆様のご協力をお願いします



上：ほじょ犬マーク（厚生労働省）＝盲導犬などの補助犬を受け入れる施設などに表示



上：ハート・プラスマーク（内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会）＝心臓・腎臓・呼吸器など、身体内部に障害があることを表すマーク

右：オストメイトマーク（社日本オストミー協会）＝人工こう門・人工ぼうこうのある方のための設備があるトイレなどに表示

左：マタニティマーク（厚生労働省）＝妊娠していることを表すマーク

*（ ）は各マークの管理団体および関係機関の名称です

上の八つのマーク、
ご覧になったことがありますか？

障害者や妊娠中の方は、外見ではわかりにくい場合があります。そのために誤解されたり、不利益を受けたり、危険にさらされたりするなど、社会生活を送るうえで思いも寄らないことがたくさんあります。そこで、誰にでもそれぞれの障害などをわかるようにするために、これらのマークは生まれました。

誰にでも使いやすいようにするためにバリアフリー化された施設も、円滑に利用できなければ意味がありません。一方で、バリアフリー化されていない施設も、まだ数多く存在するのが実情です。川越を「ひとにやさしいまち」にするためには、道路や施設などの整備とともに、市民の皆さんの思いやりが不可欠です。

障害者や妊娠中の方への、思いやりの第一歩。それは多くの方がこれらのマークの意味を知ることから始まります。まちで、これらのマークを見かけることがあるはず。その時、近くにあなたのちよつとした勇気と思いを必要としている方はいませんか？ひとりのひとりの思いやりの心が、川越をより暮らしやすいまちにする原動力になります。

十二月三日(月)は国際障害者デー、三日から九日(日)は障害者週間です。川越をもっと「ひとにやさしいまち」にするために、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ：障害者のマークについて
障害者福祉課管理担当・TEL内線2541
マタニティマークについて
総合保健センター
母子保健担当・TEL229-4125